


<b>ガーナ共和国</b>		
		
<p>赤は独立のために戦った人々を、黄は地下資源を、緑は森と農地を表している。中央の黒い星はアフリカの自由を導く道しるべの星になっている。</p> <p>独立：1957/3/6 英国より          国連加盟：1957/3/8          政体：共和制</p>		<b>国 の 概 要</b>
	首都	アクラ
	国土	面積 23万9,000 km <sup>2</sup> (本州よりやや大) 大部分が低地で最高点も標高885m にすぎない。海岸から内陸へ100km までは海岸平野、西部は森林高原地域、東部はボルタ川流域の平坦地に分けられる。アカソボダムによって作られたボルタ湖は面積8,400km <sup>2</sup> 、世界最大級の人造湖である。
	人口	2,210万人
	言語	英語、アシャンテ語
	通貨	セディ
	気候	南から北に向かって、熱帯雨林気候からサバナ気候へ移行する。12～3月はサハラ砂漠からの乾燥した北東風のために乾季に、4～10月はギニア湾からの南西貿易風のために雨季となる。
	民族	アカン族 40%、モシ・ダゴンバ族、エウェ族、ガ族、ヨルバ族
	宗教	キリスト教 50%、イスラム教 15% その他伝統宗教
<b>教 育 制 度 の 概 要</b>	学校体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と同様の6・3・3・4制をとっている。</li> <li>・公立校、私立校、インターナショナルスクールがある。</li> </ul>
	義務教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1年(6歳)～中学校3年(15歳)の9年間が義務教育期間である。</li> <li>・授業料は無料である。</li> </ul>
	日本と比較した教育課程上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期が9月～12月、2学期が1月～3月、3学期が4月～7月という3学期制である。</li> <li>・その年の8月末までに満6歳になる者は、同年の9月に入学する。</li> <li>・授業は英語で行われる。</li> </ul>
	義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育期間が修了すると、その後は後期中等教育の高等学校(3年間)又は技術学校へ進学する。</li> <li>・後期中等教育への進学は、前期中等教育終了時受ける基礎教育認定試験の成績で決定される。</li> <li>・高等教育への進学は高校3年生のときに実施される後期中等教育認定試験によって決定される。</li> <li>・高等教育は、総合大学(18歳～21歳)、医科大学(18歳～</li> </ul>

		24 歳)、教員養成学校 (18 歳~20 歳)、ポリテクニク(18 歳~20 歳)などがある。
	就学前教育	・ 保育園・幼稚園は圧倒的に私立校が多い。施設によって異なるが一般的には 3 歳児~6 歳児が対象となっており、年間 100US ドル程度かかる。
	その他	・ 都市部の私立学校のなかには、日本の小・中学校よりはるかに多い課題を生徒に与えているところもあり、ややもすると詰め込み式ともいえる授業を展開している。就学前からの早期学習もまれではない。 ・ 一方では、初等教育すら修了しない児童も数多く、社会問題になっている。
学 校 生 活	休業期間	・ 第 1 学期休暇が 4 月初旬~約 3 週間。第 2 学期休暇が 7 月下旬~8 月末まで、クリスマス休暇が約 1 カ月である。
	給食	・ 給食はなく、各自が持参するか、学校内の屋台で購入したりする。
生 活 習 慣 等	言葉の指導面の留意事項	・ 日本語の学習では、「ウ」の発音が、巻き舌になってしまうことがある。

<参考資料>

- ・ 世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・ 諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・ アクラ補習授業校 (月刊誌「海外子女教育」)・・・・・・・・海外子女教育財団
- ・ 世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・ ジュニア世界の国旗図鑑・・・・・・・・平凡社
- ・ ガーナ・・・・・・・・・・・・・・・・Wikipedia